

医薬品・医療機器等安全性情報 330 号（平成 28 年 2 月 9 日）

【1】 アムロジピンベシル酸塩

|                     |  |
|---------------------|--|
| 販売名(会社名)            | ノルバスク錠2.5mg, 同錠5mg, 同錠10mg, 同OD錠2.5mg, 同OD錠5mg, 同OD錠10mg(ファイザー),<br>アムロジン錠2.5mg, 同錠5mg, 同錠10mg, 同OD錠2.5mg, 同OD錠5mg, 同OD錠10mg(大日本住友製薬)他   |
| 薬効分類等               | 血管拡張剤  |
| 効能・効果               | 高血圧症, 狭心症  |
| 《使用上の注意(下線部追加改訂部分)》 |  |
| [副作用<br>(重大な副作用)]   | <b>劇症肝炎, 肝機能障害, 黄疸:</b> 劇症肝炎, AST(GOT), ALT(GPT), $\gamma$ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害や黄疸があらわれることがあるので, 観察を十分に行い, 異常が認められた場合には投与を中止し, 適切な処置を行うこと。<br><b>無顆粒球症, 白血球減少, 血小板減少:</b> 無顆粒球症, 白血球減少, 血小板減少があらわれることがあるので, 検査を行うなど観察を十分に行い, 異常が認められた場合には投与を中止し, 適切な処置を行うこと。<br><b>横紋筋融解症:</b> 横紋筋融解症があらわれることがあるので, 観察を十分に行い, 筋肉痛, 脱力感, CK(CPK)上昇, 血中及び尿中ミオグロビン上昇等があらわれた場合には, 投与を中止し, 適切な処置を行うこと。また, 横紋筋融解症による急性腎不全の発症に注意すること。 |

【2】 イトラコナゾール

|          |  |
|----------|--|
| 販売名(会社名) | ① イトリゾールカプセル50(ヤンセンファーマ)他<br>② イトリゾール内用液1%(ヤンセンファーマ)<br>③ イトリゾール注1%(ヤンセンファーマ)  |
| 薬効分類等    | その他の化学療法剤  |
| 効能・効果    | ① <適応菌種><br>皮膚糸状菌(トリコフィトン属, ミクロスポルム属, エピデルモフィトン属), カンジダ属, マラセチア属, アスペルギルス属, クリプトコックス属, スポロトリックス属, ホンセカエア属<br><適応症><br>● 内臓真菌症(深在性真菌症)<br>真菌血症, 呼吸器真菌症, 消化器真菌症, 尿路真菌症, 真菌髄膜炎<br>● 深在性皮膚真菌症<br>スポロトリコーシス, クロモミコーシス<br>● 表在性皮膚真菌症(爪白癬以外)<br>白癬: 体部白癬, 股部白癬, 手白癬, 足白癬, 頭部白癬, ケルスス禿瘡, 白癬性毛瘡 |

カンジダ症:口腔カンジダ症, 皮膚カンジダ症, 爪カンジダ症, カンジダ性爪囲爪炎, カンジダ性毛瘡, 慢性皮膚粘膜カンジダ症  
癬風, マラセチア毛包炎

● 爪白癬

② 1. 真菌感染症

<適応菌種>

アスペルギルス属, カンジダ属, クリプトコックス属, ブラストミセス属, ヒストプラズマ属

<適応症>

真菌血症, 呼吸器真菌症, 消化器真菌症, 尿路真菌症, 真菌髄膜炎, 口腔咽頭カンジダ症, 食道カンジダ症, ブラストミセス症, ヒストプラズマ症

2. 真菌感染が疑われる発熱性好中球減少症

3. 好中球減少が予測される血液悪性腫瘍又は造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防

③ 1. 真菌感染症

<適応菌種>

アスペルギルス属, カンジダ属, クリプトコックス属, ブラストミセス属, ヒストプラズマ属

<適応症>

真菌血症, 呼吸器真菌症, 消化器真菌症, 尿路真菌症, 真菌髄膜炎, 食道カンジダ症, ブラストミセス症, ヒストプラズマ症

2. 真菌感染が疑われる発熱性好中球減少症

《使用上の注意(下線部追加改訂部分)》

[副作用  
(重大な副作用)]

間質性肺炎:間質性肺炎があらわれることがあるので, 咳嗽, 呼吸困難, 発熱, 肺音の異常(捻髪音)等が認められた場合には, 速やかに胸部X線, 胸部CT, 血清マーカー等の検査を実施し, 本剤の投与を中止するとともに, 適切な処置を行うこと。